

春を彩る クールな装い

兼六園菊桜染 加賀友禅

友禅空間 工房久恒



- 水質汚染の原因となる化学染料ではなく、植物由来の天然染料を用いたエコな「加賀友禅着物」を開発。
- 兼六園菊桜（花弁が300枚以上つく珍しい桜）の落花した花弁から色素を抽出して、染料を製作。 ※協力：JAIST 増田研究室
- 一般的な化学染料では、多量の染料が必要となるが、開発した植物染料では少量で染色可能であり、環境負荷が小さい。

審査委員コメント

散り落ちた兼六園菊桜の花弁から色素を抽出し、友禅染着物に活用したものです。歴史や物語性のある石川ならではの植物に着目し、先端的な染色技術と伝統的な工芸技術を見事に融合させるとともに、染色廃液の環境負荷低減に配慮している点を高く評価します。今後は、汎用性の高い技術を活かして、地域資源を用いた更なる商品開発に期待します。